

スワップ金利による 投資の魅力と注意点

VIPCP対象コンテンツ

1. リスクを取って 積極運用する際 の考え方

投資家Aさんの積極運用実践例



「ローリスクで長期運用を目指す場合」 との相違点

- キャピタルゲインでの損失が大きくなりがちなので事前に限定する
 - チャートを見てエントリー・エグジットを考える
 - ロスカットは明確にしておく
- ポジションの保持期間は短めになる可能性がある
 - 相場によってはロスカットにかかる可能性が高くなる
 - 「ローリスク」の場合に比べてという意味でロスカットされない限り数カ月から数年の運用は行う前提
- 相場の様相やリスク変動といった要因をある程度考慮に入れる
 - マイナス要因が大きくなった場合はリスクをとる意味があるか検討する

実際の運用方法 (エントリーの考え方)

- チャートを見てより優位性の高いところでエントリーする
 - 直近安値やロスカットラインに価格が近い方が好ましい
 - 移動平均線と価格があまり離れていない場合が好ましい
- 上昇トレンドの場合がより好ましい
 - レンジの下限に価格が近い場合はレンジでも良い
 - 下降トレンドの場合は避けるかより慎重に検討する
- 基本は週足で考えるがより細かく判断したい場合は日足を使ってもよい
 - ポジションを持つかの判断は週足基準で行い、さらに日足が上昇している場所でエントリーといった使い方

実際の運用方法

(手仕舞い及びロスカットの考え方)

- ロスカットは必ずエントリー前に決めて置き注文を入れる
 - チャートを見て何度か戻されている安値を探しそこから数円話した場所にロスカットを入れる
 - 安値からロスカットまでをどの程度離すかでかけるリスクを決める
- ポジションの保持がある程度長期になりスワップ金利で期待した利益を上げられた場合はやや積極的に手仕舞いを検討しても良い
 - キャピタルゲインでの損失を避けるためロスカットラインをイーブンまで上げる
 - ある程度キャピタルゲインでの収益も見込んで分割決済を検討しても良い

チャート: 豪ドル円月足・週足

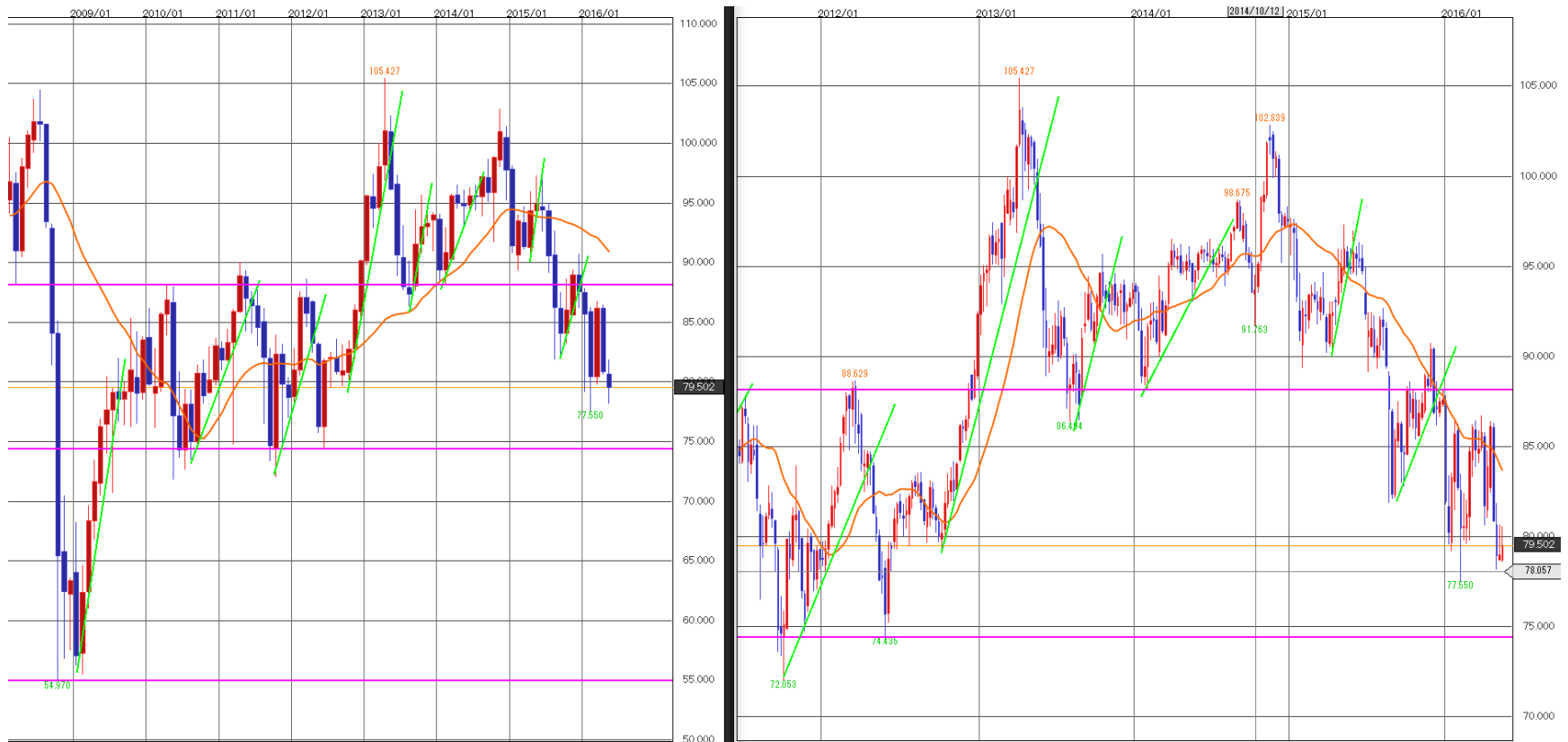


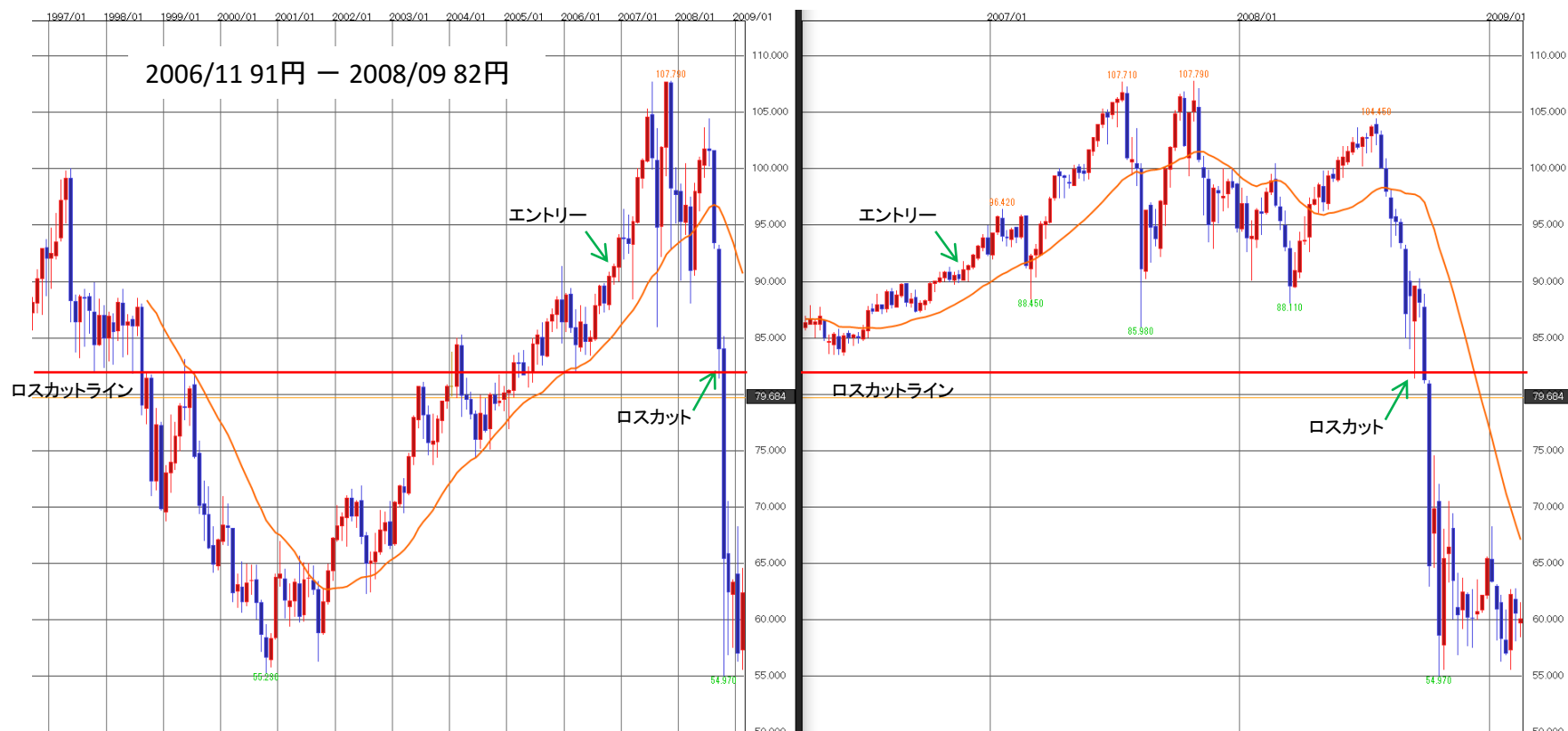
チャート: 豪ドル円日足



実際の運用方法 (リスク管理の考え方)

- 資金管理はローリスクの場合と同様で総資金の50%以内を基本とする
- ベースとなるローリスクの投資の運用益を転用する場合や総資金にゆとりがある場合はもう少し積極的にリスクをとっても良い
- キャピタルゲインによる損益ばかりに目が行くようだとリスクを取りすぎだと考える方が良い

投資家Aさんの実践例①



投資家Aさんの実践例②



「ハイリスクで積極運用を目指す場合」の 注意事項

- 取引枚数が増えるためキャピタルゲインに目が行きがちだがあくまでも長期運用でインカムゲインによる収益を上げるという目的を見失わないことが重要
 - ポジションを持った後で本来の目的を見失い利益を上げられないというトレーダーも多いので要注意
- ローリスクでの長期運用というベースをきちんと構築した上にハイリスクでの積極運用を取り入れるという形がお勧め
 - 収益のベースがあるという事で運用の安定化を図りやすくなる

<リスク開示>

このセミナーは、情報提供を目的としており、**FX**取引の勧誘を目的としたものではありません。また、実際の市場動向とは異なる可能性があり、断定的判断を提供するものでもありません。当該セミナーの内容を予告なく変更する場合もあります。

当該セミナーの内容および資料のご利用によりお客様に損失が生じた場合であっても、当社および当該セミナーの講師(所属会社を含む。)は一切の責任を負いません。お取引につきましては、お客様ご自身の判断と責任において行っていただきますようお願い申し上げます。

なお、セミナーに関する著作権は、当社および作成者に属します。お客様の私的使用目的以外での使用、他人への譲渡や販売または再配信等を行うことはできません。

<注意喚起>

店頭外国為替証拠金取引は、元本や利益を保証した金融商品ではなく、為替レートの変動等による損失発生可能性があります。さらに、レバレッジ効果(想定元本と比較して少額の資金で大きな取引ができる仕組み)や為替レートの変動等によって注文(ロスカット注文を含む)が約定しない場合等、元本を上回る損失発生可能性があります。特に、マイナー通貨(流動性の低い通貨)の取引をされる場合、元本以上の損失発生可能性があります。加えて、スワップポイント(通貨間の金利差調整額)においては通貨ペアやポジションの状態(売りまたは買い)によっては、受け取れる場合もあれば、支払わなければならない場合もあります。

当社は、インターネットを通じて店頭外国為替証拠金取引サービスをご提供しておりますので、お客様のパソコン・インターネット環境や当社のシステムに不具合が生じた場合等、取引ができなくなる可能性があります。また、お客様の取引の相手方は当社(相対取引)となっており、取引所取引とは異なりますので、契約締結前交付書面をよくお読みいただき、内容をご理解の上、ご自身の判断により取引を行っていただきますようお願いいたします。

商号:**JFX**株式会社

業務内容:第一種金融商品取引業

登録番号:関東財務局長(金商)第**238**号

加入協会:金融先物取引業協会会員番号**1503**